

チーム対抗タイムアツフ・シュートバトル競技規則2018年

1. バトルの時間 ○予選・決勝共に2分間で行います。
2. ボールの数 ○各チーム1個です。
3. 人数 ○選手15名及びリバウンドをとりシューターにパスをする監督1名。
○選手登録をしている人数で行います。(最低10名、最高15名)
○15名に満たないチームで、低学年の控え選手などを入れたいチームは、15名までは出場させてもかまいません。
○どのチームも10名を下回ったり、15名を上回ったりしないでください。
○当日、けがや病気等でオープン参加になったチームは出場できません。
○15名の選手登録をしているのに、シュートのうまいプレイヤーのみ10名を選抜して、出場させることはできません。
4. ルール ①プレイヤーは、フリースローラインを先頭に、一列に並びます。
②バトル開始の合図と共に、一番前の選手からフリースローを行います。
③フリースローをした選手は、シュートが入っても入らなくても、シュート後は列の最後に並び、再びまわってくる順番を待ちます。
④リバウンドは、監督の先生が一人、次のプレイヤーにパスをします。リバウンドボールが次の選手の方に行った場合には、そのままシュートにつなげてかまいません。
⑤ボールがリングにはさまった場合には、監督の先生がとってプレーを続けます。
⑥シュート前にフリースローラインを越えたシュートは、バイオレーションとし、得点としませんが、シュート後にラインを越えた場合は、バイオレーションになりません。(一般ルールのスリーポイントと同様の考え方です)
5. その他のルール ①シュートバトル決勝に出場できるチーム数
女子：各会場から1チームずつ(8チーム)
男子：各会場から2チームずつ※ただし、愛宕、小江原会場は1チーム(10チーム)
②各会場で同点チームが複数の場合は、該当するチームでフリースロー(誰が出てもかまわないが1人1本しかシュートできない)を行います。1本でも差が出たところで勝敗を決します。
(フリースロー1本目からのVゴール勝負)
③各コート2チームずつ計4チームでバトルを行います。交代は速やかに。
デジタイマ1分(減算計時)を、4チームが使ってバトルを行います。
得点は、デジタイマを使ってカウントします。
④決勝で同点のチームが複数の場合は、60秒間の延長戦を行います。
⑤シュートバトルの決勝は、1月27日(土)12:20からの予定です。
⑥交通条件等で、決勝出場権を得ても出場できない場合は、予選から出場することができません。大会最終日の決勝に確実に参加することができるチームのみ、予選に出場することができます。
6. 表彰 ○男女ともに決勝出場チームの中から、上位3位までのチームを表彰します。

応援コンテスト 実施要項

今年度も準決勝進出の男女各4チームの応援団を対象に、応援コンテストを実施します。優勝めざし、一生懸命プレーする選手たちに、「創意工夫あふれる元気な応援」をお願いいたします。

1. 日時 平成30年1月27日(土)
2. 場所 長崎市民体育館
3. 対象 準決勝進出の男女4チーム(計8チーム)の応援団
4. 注意事項 カネ・太鼓等、打楽器による応援は禁止します。(CDプレイヤー等を使用して、音楽を大音量で流すこともひかえてください)。基本的に、手拍子やかかけ声のみとします。流行りもののネタをやるのではなく、各チームの良さを生かした独自性のあるパフォーマンスを基本とします。
5. 持ち時間 準決勝の試合開始前、1チームにつき30秒とします。
6. 審査 長崎県ミニバスケットボール連盟の役員による選考委員が行います。
「チームワーク」「元気」「創意工夫」の総合得点で入賞チームを決めます。
7. 表彰 最優秀応援団賞 1チーム(賞状・副賞)
優秀応援団賞 3チーム(賞状・副賞)
発表は閉会式時表彰式の前に行い、賞品などは大会終了時にお渡しします。

【運営にあたってのお願い】

- ◆各チームの応援団は、準決勝開始の20分前までに、各チームの試合が行なわれるコートにお集まりいただき、ベンチエリアの反対側のサイドラインにスタンバイして下さい。
- ◆MCのアナウンスに従って、コート内で、各チームの選手にむけて応援を披露して下さい。
終了後は、速やかにスタンバイ位置にお戻り下さい。
- ◆他チームの応援中は、スタンバイ位置で腰を下ろしてお待ち下さい。
- ◆準決勝進出4チーム全ての応援が終了した後、アナウンスに従って応援席にお戻り下さい。
- ◆応援コンテストはテレビ取材を行ないますので、ご協力をお願い致します。